

砂防体験塾の様子

砂防体験塾in宮沢



砂防体験塾in宮沢の開催

平成22年8月10日（火）に尾花沢市の宮沢地区において、小学生や地元の住民の方々を対象とした砂防体験塾を開催しました。体験塾では、2010年1月に国の登録有形文化財※1に指定された中沢川の砂防堰堤※2を見学したほか、当時の砂防技術を学ぶモッコづくりや石割体験、砂防ボランティアによる土砂災害の模型を使った学習会等を行いました。参加した子どもたちは、普段見ることのない砂防施設や工夫を凝らした当時の石割や運搬技術に目を輝かせていました。

当日は晴天に恵まれ、総勢70名の方にご参加いただき、大変有意義なイベントとなりました。参加者の方々には、砂防事業や土砂災害に対する理解を尚一層深めていただけたのではないかと思います。

※1 登録有形文化財（建造物）

建造されてから50年以上経過した建造物で、広く親しまれているものや、用いられた技術やデザインが先駆的で優れているものなどが国の文化財として登録されます。

※2 中沢川砂防堰堤

大正2年8月27日に大雨による大洪水が宮沢地区を襲う大災害が発生したのをきっかけに、中沢川において山形県で初の砂防事業が着手されました。今回登録有形文化財に登録されたのは、砂防堰堤4基で、その他にも石積護岸や床固め等、歴史的な施設が多数遺され、今も受け継がれています。



登録有形文化財に指定された
中沢川崩下流堰堤工



砂防塾パンフレット



- ・現場見学
 - ・土砂災害の模型実験
 - ・地元の方による伝承話
 - ・モッコ作り体験
 - ・石割り体験
- など、たくさんのご体験し、理解を深めました。